



[質問]

アンダーボディブランケットを使用する際に、皮膚消毒薬の垂れこみや液溜まりを防ぐ方法はありますか？

よくある質問 3



[答え]

アイソレーションドレープや吸水パッド等の併用をお勧めします。

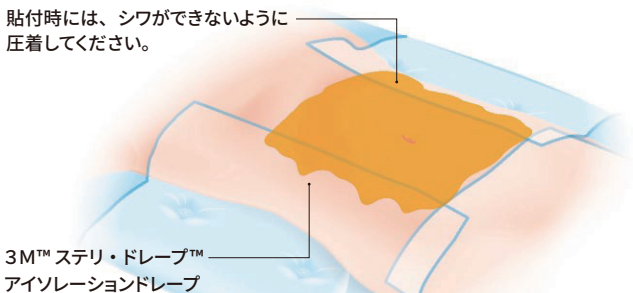
ブランケットに液体が貯留しないよう防水性のアイソレーションドレープ（未滅菌）で隔離する、または吸水パッドを使用するなどの工夫をお願いします。

皮膚消毒薬が液状のまま長時間皮膚に接触すると、化学熱傷などの皮膚損傷を起こすおそれがあります。

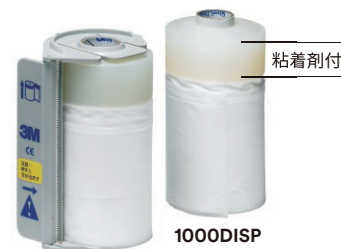
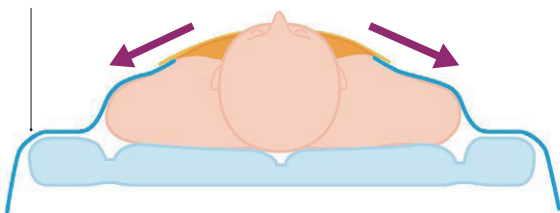
アイソレーションドレープ（未滅菌）で隔離する場合

防水性のあるアイソレーションドレープ等でしっかり隔離することで垂れ込みを防ぐことができます。

貼付時には、シワができないように圧着してください。



3M™ ステリ・ドレープ™
アイソレーションドレープを
ブランケットの外に垂らします。



3M™ ステリ・ドレープ™ アイソレーションドレープ
粘着剤付きなので、ドレーピングしにくい場所でも固定できます。
消毒液の垂れ込み防止などに幅広く使用できます。

未滅菌

製品番号	外寸 (cm) / 仕様	入れ目	
		枚 / 箱	個 / 箱
1000NS	45×30 / プリカットタイプ	50	—
1010NS	45×60 / プリカットタイプ	50	—
1000DISP	30×2,280 / ロールタイプ ディスペンサー付	—	1
1000NSR	30×2,280 / ロールタイプ ディスペンサー1個付	—	8

警告

1. 使用時には必ず指定のエアパッド特定加温装置コントロールユニットのエアホースをウォーミングブランケットに接続すること。
[エアホースのみによる加温は、熱傷を引き起こすため。]
2. ウォーミングブランケットは、孔の開いている側を患者の体表面に向けて使用すること。[熱傷を引き起こすことがあるため。]
3. 加温中は、患者の体にエアホースが触れないようにすること。[加温中はエアホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
4. ウォーミングブランケットと患者の間にシーツを敷かないこと。[加温性能および安全性に影響するため。]
5. 温度上昇警報ランプが表示され、アラームが鳴った場合は、直ちに使用を中止すること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
6. 患者の体温・皮膚の状態を10～20分おきにモニタすること。バイタルサインに異常または不安定な状態が見られた場合は、直ちに使用を中止すること。
7. 正常体温に回復したり、バイタルサインが不安定になった場合は、設定温度を下げるか、または使用を中止すること。
8. 患者が下記の状態にある場合は、細心の注意を払い、絶えずモニタすること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
● 閉塞性または糖尿病性の著しい末梢血管障害の患者 ● 低心拍出量の患者 ● 血流状態が悪い患者

禁忌・禁止

1. 再使用禁止
2. 大動脈クランプなどで、四肢の血管が遮断され、虚血状態になっている部位には使用しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
3. 本品は、適用機種以外には接続しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。また、本来の性能を損なうおそれがあるため。]

3M、ステリ・ドレープは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

感染管理製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.
HPM-583-C(041710)TP

2017年4月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45～17:15 / 月～金（土日祝年末年始は除く）
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます